

2 行政コスト計算書

1年間の行政コストのうち、資産形成以外の行政サービスに、どのようなコストがかかったか、また行政サービスに対して、使用料や手数料などの受益者負担がどの程度あったかを表した表です。

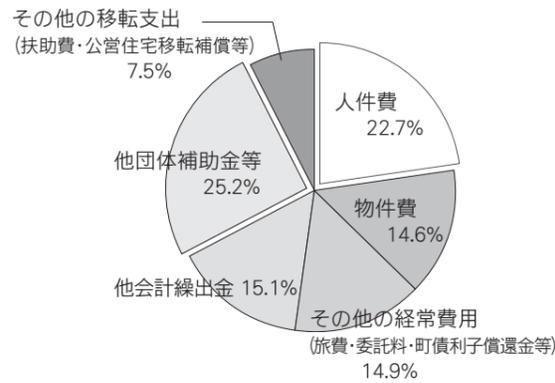
平成23年度の行政コストは総額で、47億8,692万7千円。その対価として町民などが負担した使用料や手数料などの経常収益は、2億8,511万6千円でした。総行政コストから経常収益を引いた純行政コストは、45億181万1千円となり、このコスト（不足分）は、町税や地方交付税などの一般財源や、国や道からの補助金などで賄っています。

(単位：千円)

	22年度	23年度	増減額
①総行政コスト	5,042,559	4,786,927	△255,632
1.人にかかるコスト (人件費、退職給付費用)	1,148,691	1,083,935	△64,756
2.物にかかるコスト (維持補修、減価償却費など)	807,254	698,745	△108,509
3.業務にかかるコスト (委託料、公債費利子など)	949,728	714,714	△235,014
4.移転支出的なコスト (補助金・社会保障給付費など)	2,136,885	2,289,533	152,648
②経常収益	293,073	285,116	△7,957
1.使用料・手数料など	293,073	285,116	△7,957
純行政コスト	4,749,486	4,501,811	△247,675

※各科目の端数処理により内訳と合計値が一致しない欄があります。

■総行政コストの内訳



3 純資産変動計算書

バランスシートの純資産の1年間の増減を表した表です。保有していた資産の減価償却により資産価値が減少しましたが、資産形成に一定の投資を行ったので、純資産の残高は最終的に4,047万9千円増加しています。

(単位：千円)

	22年度	23年度	増減額
年度当初純資産残高	18,642,963	18,786,699	143,736
①財源変動額	510,658	277,283	△233,375
1.財源の調達 (町税、補助金など)	5,952,711	5,599,074	△353,637
2.財源の使途 (純経常費用など)	△5,442,053	△5,321,791	120,262
②資産形成充当財源変動額	△366,922	△236,804	130,118
1.固定資産の変動 (減価償却費など)	△555,088	△605,090	△50,002
2.その他の増減 (町債の増減など)	188,166	368,286	180,120
変動額合計	143,736	40,479	△103,257
年度末 純資産残高	18,786,699	18,827,178	40,479

👁️ 「財務4表」から見える羽幌町の財政的課題

「バランスシート（貸借対照表）」を見ると、事業用資産120億7千万円、インフラ資産114億9千6百万円と羽幌町は多額の資産を保有していることがわかります。しかし、これらの資産を維持管理する経費は「行政コスト計算書」の人・物・業務にかかるコストに含まれ、様々な削減に努めていますが固定的な経費として財政負担は重くなっています。

また、経年劣化による資産価値の低下や公共施設などの老朽化が進んでおり、今後、改修や解体、建替えなど、多額の更新費用の発生が見込まれることが、当面の大きな課題となっています。

新公会計制度から見る 羽幌町の財政状況

羽幌町では、平成23年度決算から、国が示した「新地方公会計制度」に基づく「財務書類4表」を作成し公表します。

1 バランスシート（貸借対照表）

バランスシート（貸借対照表）とは、民間企業で一般的に用いられている「企業の財政状態」を表した表です。町が住民サービスを提供するために保有する資産（土地・建物・基金など）がどれだけあって、その資産を形成するために今までどのような財源（負債・補助金など）で賄ってきたのかを表しています。

用語解説	【資産】	【負債】	【純資産】
	土地、学校、公園、道路などの財産や、投資、基金など、これまで積み上げてきた資産	町債（借金）や退職手当見込額など、将来世代の負担となるもの	過去の世代で形成した財産や、国や道からの補助金など将来返済しなくても良い財産

平成24年3月31日（平成23年度末）現在（単位：千円）

資産 100%	22年度	23年度	増減額	負債 31%	22年度	23年度	増減額
① 公共資産	24,064,995	23,566,701	△498,294	① 固定負債	8,032,289	7,672,800	△359,489
1.事業用資産 (学校、福祉施設など)	12,511,300	12,070,274	△441,026	1.町債	6,146,776	5,816,286	△330,490
2.インフラ資産 (道路、河川、港湾など)	11,553,695	11,496,427	△57,268	2.退職手当引当金	1,870,183	1,841,387	△28,796
② 投資等	3,186,659	3,404,358	217,699	3.その他	15,330	15,127	△203
1.投資及び出資金	150,838	150,838	0	② 流動負債	851,158	795,403	△56,115
2.基金など	3,035,821	3,253,520	217,699	1.翌年度償還予定町債	772,974	715,924	△57,050
③ 流動資産	418,492	323,962	△94,530	2.賞与引当金	47,859	50,010	2,151
1.資金	285,473	196,645	△88,828	3.預かり金(保管金等)	30,325	29,109	△1,216
2.有価証券	41,480	41,480	0	負債合計(a)	8,883,447	8,467,843	△415,604
3.未収金など	91,539	85,837	△5,702	純資産 69%			
資産合計	27,670,146	27,295,021	△375,125	1.国・道補助金等	62,819	63,271	452
				2.一般財源等	18,723,880	18,763,907	40,027
				純資産合計(b)	18,786,669	18,827,178	40,479
				負債・純資産合計(a+b)	27,670,146	27,295,021	△375,125

※ 会計の範囲 今回の公表の対象は一般会計のみです。今後、段階的に対象とする会計を拡大しすべての会計を公表する予定です。

平成23年度末現在で羽幌町が保有する資産の合計は、272億9千5百万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。そのうち、純資産は188億2千7百万円(69%)で、過去の世代や国・道の負担で既に支払いが済んでいます。負債は84億6千8百万円(31%)。将来世代が負担していくことになります。

資産のうち、学校や福祉施設などの事業用資産は44.2%で、道路や河川などのインフラ資産は42.1%です。また、金融資産は資産の13.7%で、基金などが主なものとなっています。

👁️ 町民一人あたりにすると・・・

資産	343万9千円 (前年比1.3%増)	⇔	負債	106万7千円 (前年比2.1%減)	他市町村の参考値は、資産が100～500万円の間、負債が30～200万円の間ですから、羽幌町は、どちらも平均的な水準にあると言えます。
			純資産	237万2千円 (前年比2.9%増)	

※ 平成24年3月末住民基本台帳人口7,936人より算出